かしわざき

教育センター・育成センター所報

GALILEI

CONTENTS

○今月の巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１

★しつけ考

柏崎市教育委員会　教育長　大倉　政洋

○教育センターだより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ２
　★アクセス（教育研究班） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ２
　★プロジェクト Ｋ（科学技術教育センター）・・・・・・・・・・ Ｐ５
　★心の窓（教育相談班） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ９
○８月の行事予定表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１１
○所員随想「つれづれ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１１
　★家族はいいなぁ！　　ふれあいルーム指導員　神林　治男

平成２７年７月号

柏崎市立教育センター　柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

し　つ　け　考

柏崎市教育委員会
教育長　大倉　政洋

柏崎の教育３３３運動は、「習慣づくり」運動です。人が社会の中で生きていくための基盤となる良習慣を子どもの時から身に付けさせることは、大きな意義があると考え、取り組んでいるものであります。

ひと昔前は、「うちは躾(しつけ)が厳しくて・・」とか「親に言葉遣いだけは、徹底的にしつけられたなあ・・」といった躾談義は当たり前に聞かれたものでした。つまり、躾は日本の伝統的な教育方法であったわけです。しかし、近年「躾」という言葉は影を潜め、「習慣づくり」「習慣形成」という表現が一般的になってきています。このことは「躾」に異変が生じているが故・・と言ってよいと考えられます。

そもそも躾は躾縫いと同義であります。縫い目が狂わないように、まず仮にざっと縫い付けていくことを言います。その次に本縫いが行われ、仕立て上がると躾糸は抜かれ、何もなかったように見えるわけです。我が子を一人前に育て上げていくために親は、教え子を一人前に育て上げていくために教師は、躾に重きをおきました。地域社会にあっても大人は我が子同様、近所の子どもをしつけてくれたものでした。

しかし、価値の多元化した世の中で「躾は不要・・」的な風潮が強くなり、躾（縫い）がされないまま、育つ子が増えてきたのです。当然本縫いもありませんから、一人前になれない指示待ち人間、保護者依存人間が増えてきたとも言われました。

そして今日、再び「躾」は見直され、「習慣づくり」の大切さが、叫ばれているのです。
学力向上のための習慣、心の育成のための習慣、体力向上のための習慣、そのいずれもが育っていないという指摘を受け、その危機感の中で、家庭、学校、地域一体となって、協働して子どもを育てていこう、「習慣づくり」に本腰を入れようという動きが生じたのです。

ある大学の教授は「子どもの育ちの中で必要な躾縫いがなされずに、人間形成の基層、基盤が崩壊してしまっている中で、学校現場で、思考力だ、判断力だ、表現力だ、活用だ、探究だと高度なことを本縫いしようとしても、所詮それは無理・・躾縫い、習慣形成の大切さに気付き、立ち返り、出直さざるを得ない」と厳しい言葉を呈しています。

改めて考えるに、世の中の価値が多元化しているだけに、社会行動の共通の基層、基盤が不可欠なのだろうと思います。「早寝、早起き、朝ご飯」をはじめとする規則正しい生活、「おはよう、ありがとう、ごめんなさい」といった相手と心つながるあいさつ・・柏崎の子どもたちが柏崎の教育３３３運動の恩恵を受け、よい習慣を身に付け、さわやかに、力強く、世の中を生きぬいていってくれることを願うばかりです。

■研修講座より

生涯学習と、学びのサイクル

◆6/24（水）講師：糸魚川市立下早川中学校　長谷川明寿　校長先生

講師の長谷川明寿校長先生と参加の方々

この講座は、糸魚川市立下早川小学校　長谷川明寿校長先生をお招きし、学校研学校事務部会と共催で行い、生涯学習への理解を図ろうとする目的での開催でした。前半は、事務職員が「生涯学習」を理解することの意義と必要性について理論的にお話いただきました。

後半は「学校に何を入れると面白くなる！？」という魅力的なタイトルのもと、ワールドカフェ方式で議論を行いました。この演習を通して、教職員としての生涯学習への理解が進み、学校運営へのより深い参画が期待されるものとなりました。参加者の感想には「学校事務職員としての見識を広げる絶好の機会になりました」等、目的に沿った充実した講座であったことがうかがえる記述が多くありました。

集団作りの危機を乗り越えろ!

◆7/8（水）新たな不登校を生まない取組より　　講師：上越教育大学　　赤坂真二　教授

ご講義される赤坂真二教授

この講座は、上越教育大学　赤坂真二教授をお招きし、学校研特別活動部会と共催で行いました。前半、教師の「実践」と研修等での「学び」については両方のバランスが重要で、間にある「省察」をはさみ、行ったり来たりする「W ループ」が大切である、ということを話されました。その上で、教育効果の高い学級集団をつくる必要性について、例年にも増して、非常にエネルギッシュに私たちに伝えてくださいました。

赤坂真二先生のお話は一貫して「教師と子どものしっかりとした信頼関係と、子ども同士の親和的建設的人間関係がベースにあり、それは努力して構築していける！」というエネルギーをもらえます。参加者の感想には「いつも目から鱗、学級づくりが下手な私でも一人一人を大事に学級を創っていこうと思います」等の記述が多くありました。

合唱指導を通して、心を解放し、自己肯定感も向上させる…

◆7/7（火）児童を生かす合唱指導　第三中学校　矢島昭彦教頭先生

合唱指導中の矢島昭彦教頭先生

この講座は、第三中学校の矢島明彦教頭先生をお招きし、学校研音楽教育部会と共催で行いました。この講座では、矢島先生がプレゼンを用いたり、時に一緒に合唱をしたりして指導方法を説明されながら、子どもたちが歌う喜びを感じるような合唱指導について学びました。

矢島先生の指導は、目指す子ども像をもち、それを子ども自身の内面から引き出し、一人また一人、プラス評価で強化し、やがて集団を創っていくための恣意的な手立てで満ち溢れています。

この背景には「教科指導を通して子どもを育てる」という信念を感じます。参加者の感想には「歌うことで自分も解放され、授業の指針も得ることができる最高の講座です！」等の記述が多くありました。

じっくり読ませることが大事　～小中を超えた、小学校国語指導案検討会～

◆7/10（金）授業づくりゼミ「7/17 公開授業に向けた指導案検討会」：提案　新道小　西川武秀先生

この講座は、下段に示す授業公開に向けて、新道小学校の西川武秀先生から小学校５年国語「千年の釘にいどむ」単元の指導案を検討する講座で、小学校の先生方はもちろん、中学校国語の先生方が３名加わり、また、一緒に指導案作りにご協力いただいた同校、田村公子先生も参加する中で行いました。

指導案提案者の新道小、西川武秀先生（右）とアドバイザーの田村公子先生（左）

検討会では、まず、中学校国語の先生から、これからの時代を生き抜く力として、うわべだけの浅い読みではなく、じっくり、しっかりとした読み取りの必要性が語られました。そのためには、本時に至る、単元前半での読み取りが重要になってくること、その際「子どもの内面から湧き上がる、時を超えた『釘職人のすごさ』が表出してくるような展開も必要ではないか」という考えも出されました。（この講座で検討した指導案で、下段に紹介する公開授業を迎えることになりました。）

参加者の感想には「大変勉強になり、また、とっても面白かったです。指導案検討は小中一貫の視点で、どんな力を身に付けさるべきなのかを考えていくことが大事だと改めて思いました」等、活発な意見交換がなされた講座であったことがうかがえる記述が多くありました。

思考力を高めるには…　～指導案検討会を経た、国語公開授業＆模擬授業を通して～

◆7/17（金）　講師：福島大学　佐藤佐敏　教授

授業者の新道小　西川武秀先生

この講座は、福島大学の佐藤佐敏教授をお招きし、模擬授業も含めたご指導をいただく中で学校研国語教育部会と共催で行いました。また、前週の指導案検討（上述）を経たのち、新道小学校の西川武秀先生から「千年の釘にいどむ」単元で公開授業をしていただき行いました。

西川武秀先生の公開学級では、ルールとリレーションが子どもたちによって創られている中、多くの子どもたちが「千年前の職人と現代の職人のどちらがすごいか？」という問いかけに、根拠と理由を明確に分けて述べ合い、読解を深めていく流れでした。

公開授業後は、「ねらいに向かって効果的だったこと」と「私の代案」を出し合う協議会ののち、佐藤教授からの指導がありました。そこではご著書「思考力を高める」に基づき、子どもの読み取りを個々に評価したのち、佐藤先生自身の振り返りの中で「ゴールイメージ（落としどころ）をさらに研究することで誰でも一層魅力的な授業が創れます！」という励ましをもらいました。

後半は小６「海の命」をテーマに模擬授業をし、深い読み取りに迫る魅力を感じる内容となりました。「なぜ主人公は父親が挑んで力尽きた巨大魚を仕留めなかったのか？」という問いに、「とてもかなわない、という畏敬の念をしっかり押さえた授業づくりを！」との一考察をいただきました。

講師の佐藤佐敏教授

参加者の感想には「指導案検討→公開授業→協議会→模擬授業→指導と、実に学び多き講座でした」「佐藤先生の教材観に圧巻！教材研究の必要性を感じました」等、充実した講座であったことがうかがえる記述が多くありました。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名／資料名
7/8	保健統計 保健統計.pdf（第 10 版）
7/9	学校ホームページの管理 おたより機能を活用した学校ホームページの管理.pdf（第 3 版） 掲載に関する文書例.doc

◆コンテンツサーバ（教育委員会資料）

登録日	資料名
6/22	ALT News Letter 第 39 号

■ 情報関連講習会のご案内

8 月に実施される講習会

◆H27.08.06(木) ICT 活用ワークショップ

情報教育研究部共催講座（どなたでも受講できます）。柏崎市が整備している機器や環境を、日常の授業などでどのように活用したらよいかという視点で、体験と意見交換を行います。情報教育研究部の先生方と打ち合わせにより、会場を「タブレット PC の活用」「プロジェクターの活用」「デジタルコンテンツの活用」の3つのエリアに分け、それぞれ体験していただいた後、グループで活用のアイディアや、校内での活用推進の方法などについて意見交換を行う予定です。

◆H27.08.07(金) 情報モラルワークショップ

LINE,Facebook,Twitter など児童生徒が興味を持つ SNS（ソーシャルネットワークサービス）の体験、小学校高学年～中学生向けのモラル指導事例の紹介（模擬授業）、グループに分かれての情報交換を行う予定です。なお、体験ではアカウント作成から行いますので、携帯電話またはスマートフォンを持参してください。（アカウントは公開しないように作成し、原則講座終了時に削除します。）

◆H27.8.18(火) Word ステップアップ講座（2回目）

「文書ぐらいなんとなく作れる」という人でも、ぜひ知ってもらいたい基礎知識や効率アップのポイントを学習します。Word の「ここが嫌い」「これがうまくできない」も解消できる講座です。
（この講座は 7/27 に実施した内容と同じものです。7/27 に午前だけ参加された方は、午後だけの参加で続きの内容を受講していただけます。）

◆H27.8.20(木) Excel マクロステップアップ講座

「マクロなんて難しそう、ムリ。」と決めつけていませんか。「マクロを使えば簡単なのに、こんなに手間をかけて・・・」ということも意外に多いのです。どんな処理がマクロに向いているのか、マクロで何ができるのか、わかりやすいマクロを作成するポイントなどを学習します。

【これを知らない人は受講する価値あり】自動記録、入力規則、分岐・繰返し処理、ユーザーフォーム、変数・定数

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、7 月 15 日付で 7 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 4 件、「重要」が 10 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

2015　科学の祭典（春）柏崎刈羽大会

☆ご協力・ご来場ありがとうございました☆

６月２０日（土）、科学の祭典を新潟工科大学で開催しました。地域の企業の方、新潟工科大学・柏崎工業高校・柏崎翔洋中等教育学校・東中学校科学部の学生・生徒さん、柏刈地域の教職員の皆さんからご協力いただき、無事終了することができました。祭典は、工科大学の学祭と同時開催で天候に恵まれたこともあり、約２５５０人の来場者を迎えることができました。今回はチャレンジ研究室３ブースを含め、１７ブースを用意し、子どもも大人も目をキラキラさせながら、さまざまなブースで科学工作・実験・観察を楽しみました。

秋は、科学の祭典だけの単独の開催となりますが、また多くの先生方にスタッフとして参加していただき、一緒に楽しみ、盛り上げていきたいと思います。ちょっとした時間にできる科学工作のネタを入手するだけでなく、子どもたちの笑顔や、普段見ている顔とは違った一面に出会えると思います。

電子オルゴールの制作

ティッシュでシュート

菜種油の手絞り体験

クロロフィルで不思議な体験

【研修会・事業の様子】

○ 小５「流れる水のはたらき」鵜川巡検

◇日　　時　　６月２５日（木）　ＰＭ２：００～
◇場　　所　　鵜川上流から中流
◇内　　容

例年、鯖石川と鵜川とで交互に、「流れる水のはたらき」の観察をするポイントを紹介しています。今年は鵜川の源流付近、上流、中流を中心に児童を連れて活動できる場所を紹介しました。観察のポイントや活動例、駐車スペース、トイレ、休憩場所など現地を見ながら研修をしました。川の内側と外側の流れの違いを指導する際の教材を紹介し、実際に体験してみました。

上流で川に降りて観察

○ プラネタリウム操作技能習得講座①

◇日　　時　　６月２７日（土）　ＰＭ３：３０～
◇場　　所　　柏崎市立博物館
◇内　　容

博物館にあるプラネタリウムの投影技術を身に付け、子どもたちや市民に向けて、星空解説ができるようになることを目的として行いました。今回はドーム内の照明、恒星、夕焼け、星座絵などの投影を行いました。ダイヤルで明暗やスピードを調節し、360 度全周を変化させました。プラネタリウムの操作方法を知ることで、星の説明内容が広がります。次回は９月１２日（土）です。

○ 生活科「飼育」指導研究

◇日　　時　　７月２日（木）　ＰＭ３：００～
◇講　　師　　上越教育大学特任准教授　長沼　智之　様
◇内　　容

生活科では動物飼育活動を通して「心」や「生命」の大切さを学ばせていきます。教科書に掲載されている動物の紹介や、低学年段階で飼育可能な動物を選ぶポイントを教えていただきました。また、具体的に小学校２年生から１年生へ引き継ぎながら、長期にわたってモルモットを飼育した実践も紹介していただきました。

モルモットの心音を受講者に聞かせる長沼先生（右）

○ 科学研究応援プロジェクト「昆虫観察会」

◇日　　時　　７月１２日（日）　ＰＭ９：００～
◇講　　師　　博物館　佐藤　俊男　学芸員
◇内　　容

教育センター周辺を会場にして、子どもや保護者、教職員を対象とした昆虫観察会と標本づくりの講座を開催しました。当日は約７０名の参加者が、昆虫観察と採集の魅力を堪能しました。

最初に林や川辺を散策しながら、実際に虫を捕まえ、観察を行いました。当日は真夏を思わせるような天気であったために、飛んでいる虫の種類は少なかったのですが、参加者はコフキトンボやマメコガネなどを捕まえ、複眼や翅の様子を観察しました。その後、教育センターに戻り、昆虫標本作りに取り組みました。参加した親子からは、「実際に自然の中で、説明を受けながら学べたのでよい経験になった。」「あまり虫を触らない子どもが、標本作りではしっかりトンボを触っていたので、参加してよかった。」などの声がありました。自然への興味が高まったことを感じました。

林の中で昆虫の観察

標本の作り方を学ぶ

講師の佐藤学芸員は、「最近、若い子たちの中で、昆虫と向き合う子も増えてきている。長く継続して取り組んで、ぜひとも柏崎の生態を解明していってほしい。」と語っていました。

＜要請研修・研修サポート＞

○ 科学研究のすすめ

◇６月下旬から７月実施（８校）

科学研究のテーマは身近なところにたくさんあることを簡単な演示で説明したり、研究の進め方を簡単に紹介したりしました。今年もより多くの児童生徒が、科学研究や科学作品作りに取り組んでくれることを期待しています。

良い乾き方ってどんなもの？

○ 大洲小学校１年生親子学習会「科学実験ショー」

◇７月２日（木）実施

コーラに飴玉を入れると何か起こるかな？紙をコンロの火であぶっているのに燃えないのはなぜ？大洲小学校１年生の親子学習会にて、教育センターのスタッフが実験ショーを披露しました。後半は親子でスライム作りを体験しました。

スライムを作ろう

磁石に伸びるスライム

○ 剣野小学校科学クラブ

◇「磁性流動スライム」　６月３０日（火）実施

スライムに砂鉄を混ぜ、磁石で動くスライムを作りました。普通のスライムを作る過程で、砂鉄を入れるだけです。子どもたちの発想は素晴らしく、磁石でスライムが動く様子を、面白く表現することができました。

○ プラネタリウム授業

◇６月下旬から７月実施（１７校）

小学校４年「夏の星」「月や星の動き」の学習に向け、プラネタリウムを活用した授業が各学校で実践されました。各学校の授業担当者と博物館の学芸員が連携して、星の動きや星座について指導を行いました。一人でも多くの児童生徒が夜空に興味関心をもち、実際の空を見上げてくれるといいなと思います。

星座早見の使い方

【８月の研修会のご案内】

○ 宿泊野外研修「赤城周辺と尾瀬の旅」

◇日　　時　　８月　１日（土）～２日（日）
◇講　　師　　瑞穂中学校　校長　岸　勝巳　様
◇内　　容

柏崎から比較的近く、日本有数の大自然が残された赤城周辺と尾瀬を散策しましょう。体力に合わせて、コースをいくつかご用意します。

シナノキンバイ（左）

ニッコウキスゲ（右）

HP：尾瀬Hiking manual　より

○ 生活・総合・環境他「谷根川上流渓流ウォーク」

◇日　　時　　８月　６日（木）　AM９：００～１２：００（時間が変わりました。）
◇講　　師　　夢の森公園スタッフ　中村　拓郎　様　　元井　麻未　様
◇内　　容

サケの遡上で有名な谷根川の上流での活動です。実際に川の中を歩き、時には泳ぎながら自然を全身で堪能し、生活を支える水環境などを考えてみましょう。総合学習や小学校５年生理科の「流れる水の働き」の単元にも生かせます。

○ 星空観察会（含む、望遠鏡の使い方）

◇日　　時　　８月７日（金）　PM６：３０～
◇講　　師　　教育センター　山田　智　副所長
◇内　　容

今年は鵜川の綾子舞会館駐車場で観察会を行います。町明かりから離れていて、星を見るにはとてもいい場所です。天の川がはっきり見えるかも・・・。お知り合いを誘い、参加してみませんか。土星が観察できます。

＊各学校や地域での天体観察会を開催していく際の基本的な構えとノウハウについて学びます。

○ プラネタリウムで授業を！（小６理科）

◇日　　時　　８月２０日（木）　ＰＭ３：００～
◇講　　師　　鯖石小学校　教頭　土佐　和久　様　　博物館　佐藤　俊男　学芸員
◇内　　容

博物館プラネタリウムを活用した模擬授業を行います。月の満ち欠けの仕組みについて、プラネタリウムを使った視覚映像で理解につながる授業を作っていきましょう。

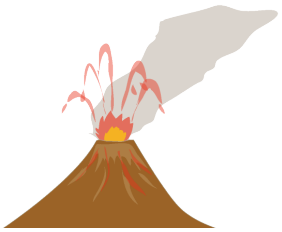
６年生の理科を担当される先生はぜひ、この研修にご参加ください。

○ 中１「大地の変化」

◇日　　時　　８月２４日（月）　ＡＭ９：３０～
◇内　　容

生徒実験も可能な簡単火山噴火モデルを作ります。手に入りやすい材料で、マグマの粘りの違いによる山の形を再現できる上、その後の展示も可能です。

また、いくつかの火山灰を観察し比較する実習も行います。



○ 活用事例から学ぶデジタル教科書　～理科（小・中）～

◇日　　時　　８月２８日（金）　ＰＭ３：００～
◇内　　容

デジタル教科書等のＩＣＴ機器は「学びの視覚化、焦点化、共有化」という３点がそろっています。この講座では事例を出し合ったり模擬授業を行ったりすることで、お互いにアイディアを出し合い、効果的だと思われる場面での活用を促進していきます。

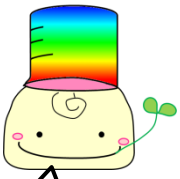
※小中同時開催ですが、小学校では新しい教科書に準じて、また、中学校では一層の効果的な活用事例について、それぞれ分かれて検討します。

○ 科学研究おうえんプロジェクト「参考作品展」「名前調べ会」

参考作品展

素晴らしい標本を見てみよう

期　間　８/１２(水)～８/２３(日)
（ただし１６日は休館日）
時　間　１０時～１７時
（最終日２３日は１６時まで）



会場はどちらもソフィアセンター２階、展示ホールだよ。

名前調べ会

名前のわからない標本を先生と一緒にしらべよう！

期　間　８/２３（日）

時　間　１０時～１２時
１３時～１５時３０分

平成２７年度　柏崎市立教育センター　　教育相談班だより　７月号

心の窓

No.１９１

〒９４５－１３５５
柏崎市大字軽井川４８０３－２
ＴＥＬ　0257(23)4591（代表）
ＦＡＸ　0257(23)4610
E-mail　soudan@kenet.ed.jp

「後輩カウンセラーへの手紙」

前略

お元気ですか？

以前、あなたが担当していたＡさんを覚えていますか？私が担当を引き継いでから、もう1年余りが経とうとしています。

あなたが担当していた時のＡさんは、自室にこもったまま家族と顔も合わせず、ずっと布団に潜り、完全に引きこもりの状態でした。「今週も変化が無かった」と母親が肩を落として報告するのを、あなたもただひたすら聴くしかない時期が続いていましたよね。

ところが、最近、動きがありました。

動きというのは、まず、母親の変化から始まりました。毎朝、A さんが寝ていようがお構いなく、部屋のカーテンを開けるようになりました。本人が寝ている布団の中に手を入れて、直接体に触れて「おはよう、元気？」と声をかけ続けました。そして何より、本人が学校へ戻ることは諦め、もう一度、ごく普通の親子関係を取り戻すことを目標に定めました。

そんな或る日、母親が飼い犬を連れて A さんの部屋に入った時のことです。犬が布団をかぶって寝ているＡさんの上に飛び乗った際、突然、本人がむっくりと起きて犬を捕まえようと両手を伸ばしました。その瞬間、母親は不意にＡさんを抱きしめました。

すると、Ａさんは、およそ一年ぶりに声を発したのです。

「お母さん、ごめんね、ずっと部屋にいて。」

すかさず、母親は、

「ううん、そんなこと、どうだっていい。こうして顔を見せてくれて、声を聞かせてくれて嬉しい。お母さんはずっとこうしたかった。」

そう答えながら涙したそうです。気が付くとＡさんも一緒に。

その日以来、A さんは、母親が部屋に置いておいた本を読んで「続きが読んでみたい。」と注文を出したり、編み物に挑戦し始めたりしているそうです。時々は外出の誘いにも応じ、長く伸びた髪もついに切ったそうです。

こうして親子が変化してきているのも、あなたが長い期間、ずっと母親の溜め息を受け止め、共感しながら話を聴いてあげてきたお陰です。さなぎの時期を大切に見守り続けたことが今に繋がっているのだと思います。「無駄な時間など何一つ無かった」のだと、あらためて思います。

Ａさんのことは、あなたも心配だったでしょうから、細やかですが良い報せを送ります。

これからも、そちらの地で益々のご活躍を。

草々

（　文責：教育相談係長　小林　東　）

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

6/１６　えんま市見学

えんま市最終日、見学に行ってきました。通級生は、初日から何回も足を運んでいたようで、どこにどんな店があるかをよく知っていました。

普段、ふれあいルームの中の様子しか見ることができない通級生が、外で色々なかかわり方をする姿が見られて、とても頼もしく思えました。

7/１　茶道体験

新潟産業大学の茶室をお借りして、講師の月橋龍子先生から茶道を教えていただきました。

お茶は飲んだことはあるという通級生も、自分でお茶をたてる体験は初めて。最初は緊張していたものの、月橋先生のお話で徐々に気持ちも和らぎました。お茶を出すことを通して、おもてなしの心や相手を思いやる気持ちを学ぶことができました。上手にたてることが出来て、季節のお菓子とともにおいしくいただきました。日本の伝統文化に触れる素晴らしい体験ができました。　（ふれあいルーム指導員　神林　治男）

◇◆

教育相談班　8月の予定

≪カウンセリングルーム≫

※いろいろ体験グループ（ＳＳＴ）

７日（金）16:30～17:30　小学校Ａグループ
１４日（金）16:30～17:30　小学校Ｂグループ
２１日（金）16:30～17:30　小学校Ｃグループ
２７日（木）18:30～20:00　中学校①グループ
２８日（金）18:30～20:00　中学校②グループ

≪ふれあいルーム≫

★夏季休業中も、ふれあいルームには指導員が在中し、開設しています。
２８日（金）　前期後半通級開始

【お知らせ：心理検査・知能検査器具および用紙の貸し出しについて】

カウンセリングルームでは、市内の小中学校の先生方を対象に、WISC-Ⅳ等の知能検査・心理検査の器具および検査用紙の貸出を行っております。ご希望の方は特別支援教育コーディネーターを通じてカウンセリングルーム（32－3397）にお電話ください。なお、貸出できる器具・用紙の一覧「教育センター心理検査用紙等在庫一覧 H27 年度.pdf」を、【教育情報支援システム内¥共用キャビネット¥教育センター及び¥特別支援教育フォルダ内】に置きましたので、ご参照ください。

８月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	土	科:宿泊野外研修「赤城周辺と尾瀬」
2	日	科:宿泊野外研修「赤城周辺と尾瀬」
3	月	研:AED①13:30- 育:昼間育成活動
4	火	研:相談支援機関訪問研修9:00-15:00 研:AED②13:30-
5	水	研:文化財めぐり9:00- 研:特別支援学級経営の基礎基本②13:30-
6	木	科:谷根川上流渓流ウォーク8:50- 情:ＩＣＴ活用ワークショップ13:30-
7	金	研:発達の特性のある子どもへの指導支援②14:00- 科:星座観察会18:30- 情:情報モラルワークショップ 相:いろいろ体験グループ小A 16:30- 育:夜間育成活動
8	土	
9	日	育:中高生と大人の座談会（市民プラザ）12:45-
10	月	
11	火	
12	水	科:参考作品展(ソフィアセンター）～23日まで
13	木	
14	金	相:いろいろ体験グループ小B 16:30-
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	情:Word9:00-/13:00-
19	水	
20	木	研:みんなで楽しむ英会話！（アルフォーレ）10:00- 研:WISC-Ⅳ③13:30- 情:Excelマクロ9:00-/13:00- 科:小6「プラネタイリウムで授業を!」(博物館)15:00-
21	金	相:いろいろ体験グループ小C 16:30- 育:昼間育成活動 育:わたしの主張 柏崎刈羽地区大会（市民プラザ）13:30-
22	土	
23	日	科:名前調べ会（ソフィアセンター）10:00-15:30
24	月	科:中1「大地の変化」9：30- 相:班会議13:00- 育:昼間育成活動
25	火	研:指導補助員・介助員研修14:00- 上教大院臨床心理視察実習受け入れ 9:00-11:00
26	水	
27	木	相:いろいろ体験グループ中① 18:30-
28	金	科:活用事例から学ぶデジタル教科書15:00- ふ:前期後半通級開始 相:いろいろ体験グループ中② 18:30- 育:夜間育成活動
29	土	
30	日	
31	月	

研・教育研究班　　科・科学技術教育　　相・教育相談班
ふ・ふれあいルーム　情・情報教育研修　育:育成センター

家族はいいなぁ！

ふれあいルーム指導員　神林　治男

一昨年、嫁いだ娘が、昨年女の子を出産。初めての孫娘の誕生に家族みんなが喜んだ。特に、父母は、ひ孫を抱いて大喜びであった。しかし、昨年５月に父が他界してから、何か寂しいものがあった。

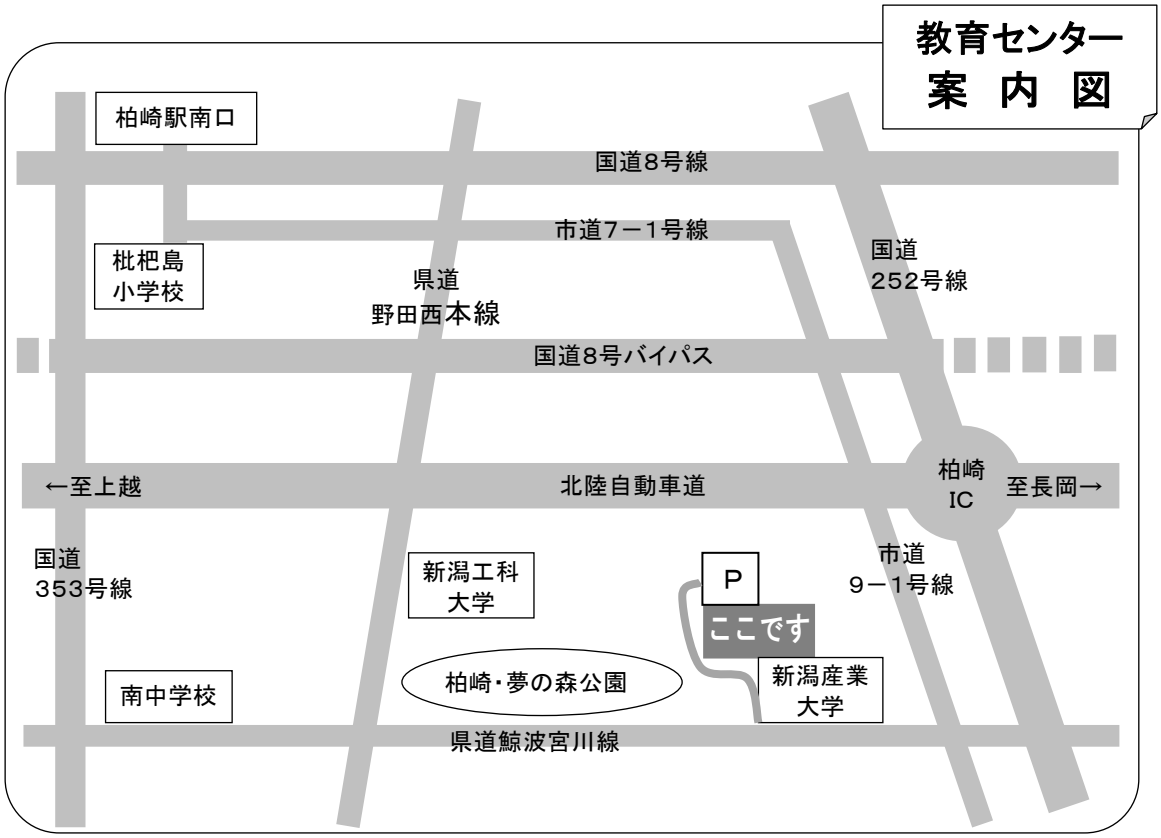
しかしながら、「悔やんでいてもしょうがない、新しい家族ができたのだから！」と前を向いて進もうと思うようになった。

暇を見つけては、孫と共に帰省する娘と婿に、「やっぱりいいなぁ…、柏崎は！」と感じてもらえるように、迎えている。孫が来たときには、家中が笑い声と笑顔でいっぱいになる。とても幸せな時間である。帰るときに、涙を流す１歳５か月の孫の姿を見ると寂しさを覚える。

正月、ゴールデンウィーク、えんま市、ぎおん柏崎祭、お盆、シルバーウィーク、年末などに顔を見せてくれる。年を取ったせいなのか、人や家族とかかわれることがとてもうれしく思うようになった。

６月末、もう一人の娘が嫁いだ。バージンロードをエスコートするのも二度目。娘からの言葉で、涙が止まらなかった。しかし、近くに居住しているので、よく顔を見せてくれることがとてもうれしい。

今、家の中で男一人となった私である。娘たちが婿たちと一緒に来た時、男同士で飲んで語り合えることがとても楽しみである。家族が健康で、笑顔で生活できることに感謝している。また新たな命が生まれ、家族が増えたらいいなぁと楽しみにしている。



〒945-1355　柏崎市大字軽井川４８０３番地２（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表ＴＥＬ：０２５７－２３－４５９１
代表ＦＡＸ：０２５７－２３－４６１０
E-mail：k-center@city.kashiwazaki.lg.jp
教育研究班・情報教育　ＴＥＬ：０２５７－２３－１１６８
E-mail：kec@kenet.ed.jp
教育研究班（科学技術教育）ＴＥＬ：０２５７－２０－０２１２
E-mail：kagaku@kenet.ed.jp
教育相談班（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ）　ＴＥＬ：０２５７－３２－３３９７
E-mail：soudan@kenet.ed.jp
教育相談班（いじめ不登校電話相談）
ＴＥＬ：０２５７－２２－４１１５
青少年育成センター　ＴＥＬ：０２５７－２０－７６０１
E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.lg.jp
教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成２７年７月発行